

授業科目名	【G】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	英語でコミュニケーション				担当者	大倉 直子		
授業概要	【概要】	<p>このクラスでは、次の2つのテーマで1年間の学修を進める。</p> <p>①【場面で学ぶ英会話】 英語を実際に使えるようになるには、多様な場面や状況に応じたやり取りのしかたを学ばなくてはならない。学校で、オフィスで、旅行先で、相手の質問や意見を聴き取り、適切に答えてはじめてコミュニケーションが成立する。場面に即したコミュニケーション・スキルを磨き、使える英語を身につけていく。</p> <p>②【アメリカ映画で学ぶ文化と歴史】 真のコミュニケーションは、その国の文化や歴史を知った上で成立する。アメリカの映画を取り上げ、文化と歴史について理解を深める。</p> <p>(※本年度は演習選抜時の受講者の希望により、①を中心とする。)</p>						
	【到達目標】	場面に応じた会話のしかたを学び、英語圏(アメリカ)の文化と歴史を理解して、英語でコミュニケーションができるようになる。						
履修条件	英語Ⅰの単位を修得済みであること。履修には教科書の購入が必要です。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	平行して、英語Ⅱ～Ⅳを順に履修することが望ましい。また、オンライン留学(海外短期語学研修)への参加、言語圏文化論(英)等の履修を通して、英語圏の文化について理解し英語の力を伸ばしていくことが望ましい。							
教科書	書名:Speak Now (Level 1) 著者:Jack C. Richards and David Bohlke 出版社:Oxford University Press ISBN:978-0194030151 (大倉担当の2023年度フレッシュマン・セミナーⅡで使用したもの)							
参考書	適宜、資料を配布する。							
評価方法	授業での取組み(英語4技能タスク):60%、提出物・小テスト:40%							
フィードバック方法	テスト返却の際にコメントと模範解答を提示する。会話作成の際に添削する。							
評価基準	「評価方法」における得点が90点以上で授業内容に深い理解がみられる者を「S」(Fカリキュラムは「A」)、80点以上で十分な理解がみられる者を「A」、70点以上で基本的な理解はできている者を「B」、60点以上で理解の一部に不十分な点がある者を「C」とし、60点未満で理解に誤りが多い者は程度に応じて「D」または「E」とする。なお、会話テストの欠席など、評価不能な場合には「F」とする。							

授業 科目名	【G】 教養演習 I・II	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
		選択必修				
授業内容	<p>次の①②の2つのテーマで1年間の学修を行う。 取り上げる内容の詳細は以下の通りだが、受講者の英語のレベル、これまでの学修の背景、興味を考慮して、より実践的な演習を行う。 (※本年度は演習選抜時の受講者の希望により、①を中心とする。)</p> <p>①【場面で学ぶ英会話】 場面に即したコミュニケーション・スキルを磨き、使える英語を身につける。受講者は各回で会話の発表を行う。 ・教科書を使用：自己紹介して友達を作る、人の特徴について話す、出掛ける約束をする、映画や音楽について話す、旅行先で買い物をする、生活について話す、など。また、教科書に収録されている動画(ドラマ)を使ってリスニングに取り組む。 ・英字新聞を使用：時事問題について意見を述べる(2023年度例：「アフターコロナ」のマスク着用、沖縄のオーバーツーリズムについて、など。) ・英語の音と日本語の音の違いについて学び、リスニングや発音に取り組む。</p> <p>②【アメリカ映画で学ぶ文化と歴史】 アメリカの映画を取り上げ、文化と歴史について理解を深める。各回で担当者が発表を行う。 ・プロテストソングの流れ、ベトナム戦争、歴代大統領、Apple Computerの創業、アメリカ独立記念日、など。</p> <p>〈アクティブラーニング〉 ・受講者がペアになってシチュエーションを想定した英会話を発表する。 ・受講者で担当回を決め、アメリカの文化と歴史について発表を行う。</p>					
予習内容	<p>教科書の単語を調べ、英語の音声を聴いてくる。また、発表担当の回は、発表の準備をする。 なお、各回の予習時間は90分を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>発音できなかったところや聴き取れなかったところを練習する。 なお、各回の復習時間は90分を目安としてください。</p>					
その他	<p>英和・和英辞書(オンライン可)を用意する。</p> <p>※Gカリ：【 I は選択必修(A)・II は選択必修(B)】</p>					